

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	山形県
-------	-----

学校の概要

学校名	川西町立第一中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	1	11	26
生徒数	115	107	153	4	379	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人の「確かな学力」を育み、主体的に学習に取り組む生徒を育てる学校づくり

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

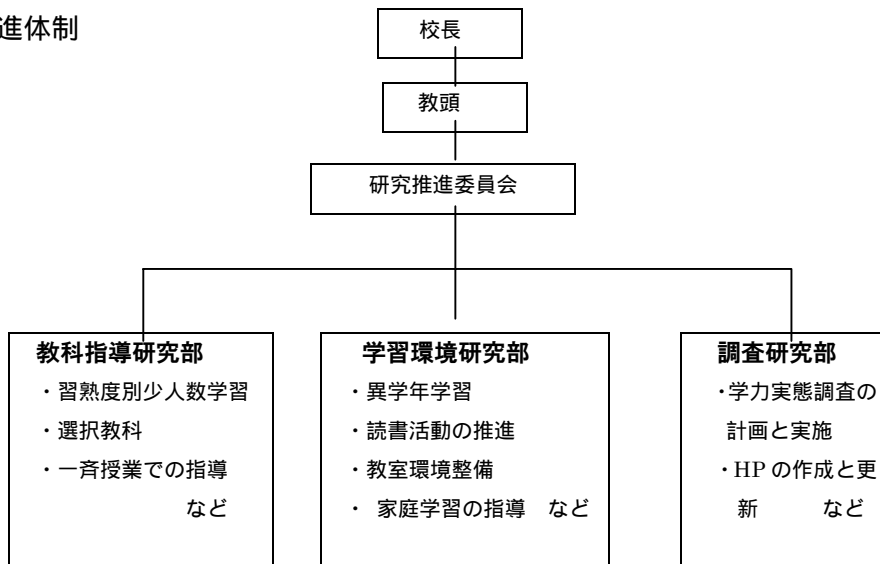
全学年 国語・数学・社会・理科・英語

- ・積み上げ教科であり、生徒の理解の状況に較差が出やすい教科であるため
(習熟度別指導：全学年数学・3学年英語)
- ・TT指導の研究実績が最も進んでいる教科であるため(TT指導：1,2学年英語)
- ・生徒の実態調査の結果から、重点的に取り組む必要があると考えられる教科・学年であるため(評価を生かした単元構成：2学年国語)
- ・選択教科において多様なコースを設定することによって「補充的」・「発展的」指導がしやすい教科であるため(補充的・発展的な学習：全学年国語・社会・数学・理科・英語)

(2) 年次計画

平成 15 年 度	<p>テーマ 「個」に応じた教科指導の工夫、教育課程全体における「学びの機会」の拡大・充実 研究の見通し (1)教科指導において、生徒一人一人の実態に応じて指導方法・指導体制を工夫 していけば「確かな学力」を身につけさせることができるのではないか。 (2)人的・物的な学習環境を整え、生徒の「学びの機会」を拡大することによっ て、主体的に学習に取り組む姿勢を培うことができるのではないか。</p> <p>研究の内容・方法 (1)に関して 習熟度別少人数学習とTT指導の実施(数学と英語) 重点単元内における補充的指導の実施(2年国語・3年社会) 選択教科における「補充的な学習」・「発展的な学習」の推進 (2)に関して 地域人材の積極的活用(3年選択英語) 異学年学習会の実施(数学)と全校一斉一日読書の日の設定</p>
平成 16 年 度	<p>テーマ 教育課程全体を通して「確かな学力」を確実に定着させる教育活動 研究の見通し 有効的な調査結果を継続的に実施し、その結果をもとに教育課程全体の中で一人 一人の学力向上を図り、家庭学習の習慣化など家庭との連携を図ることによって 「確かな学力」を身につけさせることができるのではないか。</p> <p>研究の内容・方法 前年度の実践の継続(有効的なものを改善しながら) 家庭学習の習慣化と自主学習の推進(家庭との連携)</p>

(3) 研究推進体制

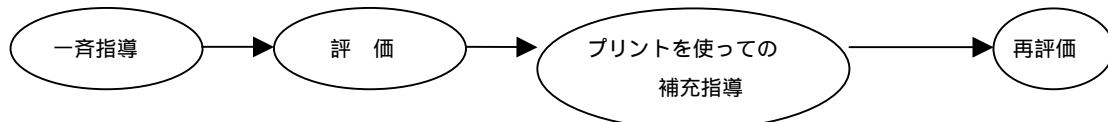


平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(1) 教科指導における指導方法・指導体制の工夫に関して
習熟度別少人数学習（生徒に対する調査7月実施から）

- ・調査結果を見ると、『少人数のほうが、勉強がよくわかる。』という設問に対して、数学では「大変そう思う」「まあまあそう思う」合わせて約80%に達している。数学科における習熟度別少人数学習が生徒にとって学習の達成感を保証し、基礎・基本の定着に効果的であることがわかる。
 - ・英語科では、今年度から初めて3学年のみ習熟度別少人数学習を行っている。『勉強がよくわかる』に対して「大変そう思う」「まあまあそう思う」が約75%であった。数学よりはやや低い数値であるが、今後、さらに研究を深めることで数学同様の効果が得られるものと考えられる。
 - ・また、英語では、1学年と2学年についてはTT指導を行ってきた。同じ質問に対して「TTの方がよくわかる」と答えた生徒は、1学年が約80%、2学年が約60%である。今後に向けて、効果的なTT指導のあり方を探求するとともに、学年の実態、学習単元内容に応じて一人一人に対応した補充指導の効果が現れやすい指導方法・指導体制を工夫していくという視点を持つことができた。
- 一斉指導の中での「個」への対応
- ・今年度、3学年社会科では週3時間を一年間通して配当し、その多くなった時間を使って、以下のサイクルで単元内での補充的指導に取り組んだ。



	向上した生徒数	下降した生徒数
関心・意欲・態度	5人	3人
思考・判断	14人	6人
技能・表現	16人	4人
知識・理解	6人	1人

3学年の1クラス（39人）の社会科観点別評価の比較（昨年度（学年末）→今年度（2学期末））

・この資料を見ると、どの観点でも向上した生徒が多く、継続的に単元ごとの補充指導をしてきた結果、基礎・基本の定着が図られたと考えられる。また、下降した生徒については詳しい分析が必要であるが、「地理・歴史」から「公民」に変わったという点が大きかったと思われる。

(2) 生徒の「学びの機会」の拡大に関して
異学年学習会

- ・次のアンケート結果を見ると、スモールティーチャー（教える側）にとっても教えられる側にとっても学習意欲の向上に結びつく「学びの機会」として効果的であった。

< 「異学年学習会」(1回目：5月実施)はどうでしたか。 >

	教える側(スモールティーチャー、3年生) 合計38人	教わる側(1、2年生) 合計161人
よかったと思う。	37人	151人
よくなかったと思う。	1人	1人
どちらともいえない。	0人	9人

- ・「わかりやすかったですか。」という設問では、「わかりにくかった」と答えた生徒が0人あり、回答の中には、図を描いたり、立体を作ったり、時計を使ったりなど、自分で教材を作成して教えた生徒もいた。
- ・スモールティーチャーにとっては自分の学習の復習や再確認もできた。
- ・アンケートには、「最後に、ありがとうございましたと言ってもらえてうれしかった。」という記述もあり、上級生と下級生の交流が深まり、協同学習の効果も見られた。

全校一斉読書活動

- ・一学期と二学期にそれぞれ「一日読書の日」と題してブックトークをはじめとする活動を昨年度から継続している。その前後における図書室貸し出し冊数が大幅に増加しており、読書意欲の向上が見られる。(平成13年度9月～11月 73冊→平成14年度4月～6月 372冊→平成15年度4月～6月 524冊)
- ・読書に対する関心アンケートでも、「一日読書の日(1回目)」の前後では、「読書が好きですか」という設問に対して3パーセントの増加が見られた。
- ・「確かな学力」を支える読書の習慣化が、少しずつ培われてきているが、これは「一日読書の日」の単発の取組だけでなく図書委員会や朝読書などの地道な読書推進活動に支えられていると考えられる。また、今年度は朝日新聞社主催のオーサー・ビジット事業で井上ひさし先生に授業をしていただくという機会にも恵まれ、読書意欲の喚起につながった。

2. 今後の課題

- ・数学科における習熟度別少人数学習については、ほぼ指導方法・指導体制ともに実践が積み重ねられてきたが、今後英語科における指導方法について研究を深めたい。また、TT指導について、指導内容も含めて効果的な指導方法を吟味検討していきたい。大きな課題としては、打ち合わせの時間をどう確保するかであるが、TTの指導者同士が役割分担を明確にし、より一層効果的な指導を行っていきたい。
- ・一斉指導の中での「個に応じた指導」へのアプローチについては、今年度は「2年国語」と「3年社会」で試行的に進めてきたが、教材の開発などの指導方法の確立まではいたっていない。「個」に対するきめ細やかな指導を全教科で取り組んでいくことを基本として、授業改善に向けて来年度はしっかりと検討していきたい。
- ・異学年学習会や読書活動については、はっきりと生徒の学習意欲の向上に結びつく効果が確認できたので、今後はマンネリに陥らないように、常に改善しながらよりよいものを目指したい。

学力等把握のための学校としての取組

学力検査 NRT(全学年)の実施・・・年1回 読書意欲、貸し出し冊数の変化・・・年3回、月ごと
 教科での単元ごとの到達度テストの実施・・・各教科・単元ごと
 生徒と保護者の学習意識調査(アンケート)・・・年2回
 異学年学習会の意識調査(アンケート)・・・年3回

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度 フロンティア授業研究会の実施
 日時：平成15年11月17日(月) 場所：川西町立第一中学校 対象：置賜管内の教職員
 平成15年度 町教育研修所学校研究発表会での実践発表(計5名)
 平成16年度 公開研究発表会の予定
 日時：平成16年10月22日(金)
 場所：川西町立第一中学校 対象：置賜管内の教職員を中心に
 本校ホームページ <http://www3.omn.ne.jp/~kawa1/>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- | | | | | |
|-----------|--|--|--|--|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | <input checked="" type="checkbox"/> 7～12学級 | | |
| | 13～15学級 | 16学級以上 | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T.Tによる指導 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | | | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | <input checked="" type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 数学 | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 | 音楽 | 美術 | 技術・家庭 |
| | 保健体育 | その他 | | |
| | 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | |